

## 講社新設鎮座祭

これの神床を清らかに払い清めて今し厳かにお鎮め申し上げました  
くにとこたちのみこと をもたりのみこと くにさづちのみこと 月  
よみのみこと くもよみのみこと かしこねのみこと たいしよく天  
のみこと をふとのべのみこと いぎなぎのみこと いぎなみのみこ  
となる親神天理王命の御前に天理教 分教会長 慎んで  
申し上げます

親神様は朝な夕な私達子供の上には深い親心と限りないお働きをおか  
け下され お蔭で毎日明るく陽気に暮らさせて頂きまことに感謝の念  
に堪えません

殊には神奈川県足柄上郡○○町○○一二三番地に住まわれる△△家は  
この度親神様の奇しきお計らいにより長男○○氏の身上を台とされ  
長年の友人である△△△△姉のお手引きのよりこのお道にお引き寄せ  
頂きました 早速人生の幸せの基本を体得すべく去る○月二十六日○○  
氏が三ヶ月おぢばでの修養科へ入学され 続いて母△△△△姉の初席  
父△△△△氏の初席 又姉○○姉の初席と次々に別席を受けられ 見事に  
一手一つとなって親神様の御教えを学ぶことになりました 修養科生  
活の三ヶ月もあつと云う間に過ぎ この月二十三日の詰所での修養科  
生の月次祭を共々参拝させて頂き おつとめ着を着てつとめられる○○  
氏のそのりりしい姿に 一同この道にお引き寄せ頂いた幸せと感激を  
しみじみ味わう事が出来ました かねてより父△△△△氏が「会長さん早  
く神様をお祀りしましょう」と申し出てくだされていましたので こ  
の度○○氏の修養科卒業をその絶好の旬と定め この月この日の吉き  
今宵神実様を只今鎮座させて頂く運びと相成りました 講名を○○講  
と名付けましたが これより後は益々かしまのかりものの理を心に強  
く治め ひのきしんの実践につとめ 喜びに明け感謝に暮れるなるほ  
どの家庭を目指し 先祖の霊様方にも一層敬慕の情をつくし 又おぢ  
ばでのおやさとかたふしんと大教会の移転ふしんに心の限り力の限  
りつとめさせて頂きたいとお誓い下されておりますが この講社を拠  
点としてなされるたすけ一条の道の上には珍しい不思議な御守護を給  
わり 尚これの周辺に思召し下さる陽気ぐらしの実が次々と拡がって  
参りますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます